

岩屋だよりー11号

2012年（平成24年）12月吉日

「一年の 計成らずして もう師走」！

筆者が、長崎市北部から職場のある市街地まで朝歩く最中、いつも玄関脇に春・夏・秋・冬の四季にちなんだ川柳を掲載している浦上教会付近の民家があります。その前を通る時見るのが楽しみです。師走になると毎年上記のような句が・・・

本当に一年過ぎるのは早いものですが、今年は当北星館も末席に加盟させてもらっている「日本合気道普及連盟」（以下、本文中は普及連盟と記す）にとっても画期的な1年でした。

10月に入って新たに長崎県の祐気会諫早道場・島原道場（いずれも代表は宮原氏）と宮崎県延岡市の亮天館（代表は中島氏）が普及連盟に加入し、昨年と比べ、

- ・道場数が、5→8道場
- ・連盟会員数（有段者）35→54名

それらに伴い普及連盟参加道場の所属会員は124→195名になりました。数字上増えただけで単純に満足することなく、これからも会員が一丸となって合気道の普及に尽力して行かなければなりません。

●ちょうど折良く、普及連盟の主要道場の一つである、育翔館の木村功館長が阿蘇五岳（最高峰の高岳1592m※「ひごのくに」とゴロ合せ・をはじめ、中岳、根子岳など）を正面に眺めることのできる地（正式地番は、阿蘇市狩尾1564番地1）に除根・地ならしから建築まで約3年の歳月をかけて建設中だった道場がこの度目出度く完成しました。

この道場は、今後普及連盟の総本山としての使用も木村氏から快諾していただきましたので、今後この地が合気道の普及をメインに様々な交流の場として活用されることが大いに期待されます。

夏の豪雨災害のため延び延びになっていた落成式が、去る10月28日（日）正午から地元阿蘇市の市長様、警察署長様はじめ木村氏の人脈の広さを物語るように多方面から多くの来賓者などのもと挙行され、普及連盟関係道場の館長クラスなどによる演武も披露されました。

終了後、祝賀会に移り、ともに以前から合気道の稽古に汗を流した旧知の間から約50名が集い、時間の経つのも忘れ楽しい一時でした。

帰宅の途につく頃には、雨も上がり雲間から阿蘇五岳の一部が垣間見え、まさに古来より文人らの詩などにもその姿が多く詠われているように、ちょうど涅槃像が寝ているように五岳が見え、たいへん幸先の良い木村道場及び普及連盟総本山落成の日でした。

あらためて紙面をお借りして、木村ご夫妻をはじめ育翔館の会員、地元狩尾地区各位に深くお礼申し上げます。敷地の林内にたわわになっていた「ヒラタケ」までお土産にいただき、帰ってからの吸い物、最高！でした。



木村 功氏の挨拶





祝賀会（酒を酌み交わしながらの合気道談議にしばし花が）



帰る頃には道場から阿蘇五岳の一部が見えて

●昨年11月27日（日）佐賀県三養基郡みやき町のみやき町立中原武道館、今年4月8日（日）熊本県植木町の植木武道館に引き続き、第3回目となる交流会を去る11月17日（土）長崎市油木町の長崎県立総合体育館（アリーナかぶとがに）武道場にて、午後1時から約2時間行いました。

内容としては、せっかくの長崎の地での交流会でもあり、祐気会の宮原七段と北星館の浜田七段による指導のほか、北星館の学童部による稽古風景なども披露されました。

稽古終了後、4時過ぎから市内北部の葉山公民館に場所を移しての懇親会を開き、普及連盟発足満1周年も兼ねて時間の経つのも忘れて楽しい一時でした。

（今回の一般参加者数）

- ・ 稽古46名
- ・ 懇親会41名



合同記念写真（あまりシャープでなくすみません！）

遠方から参加していただいた多くの会員の方々、また今回の交流会でも従前と同様に尽力していただいた事務局の衛藤ご夫妻、北星館のスタッフの皆さん方たいへんありがとうございます。

末尾になりましたが、葉山公民館においしいたくさんの料理を家族総出で運んでくれた岩屋中学校前の「浜谷（はまたに）食堂」（※同食堂は年明けたら今の場所から少し店が移動予定ですが、B級グルメ？の筆者の一押しのお店です。是非皆さんこれまで以上に足を運んで下さい）には紙面をお借りして深謝申し上げます。



●来年は、巳年、ヘビの皮を財布に入れておくとお金が貯まるとかも・・・

この写真は、新潟県佐渡島の国の天然記念物にも指定されている「朱鷺(トキ)」。古来我が国でも日本海側を中心にして多数生息していましたが、乱獲や環境の変動により絶滅しました。

今年5月25日中国からの移入のつがいから我が国では38年ぶりとなるヒナが巣立ちしました。まだまだトキが増えていくための諸条件は厳しいですが、来年は雄大に佐渡の空を舞う姿が見られるいい年になって欲しいものです。